

## 令和4年度 第1回名取市社会教育委員の会議概要記録

○日時	令和4年5月27日(金) 午後1時30分～3時15分
○場所	仙台法務局名取出張所2階 第1会議室
○出席者(7名)	玉野井ゆかり委員、和栗 幸一委員、太田 裕子委員、 須永 力委員、本郷 一浩委員、阿部 文男委員、高橋真佐子委員
○欠席者(3名)	大野 英子委員、齋藤 勇介委員、松田 道雄委員
○事務局出席者	教育長 瀧澤 信雄 教育部長 菊池 博幸 生涯学習課 課長 佐藤 徹也 課長補佐 佐藤 浩 〃 生涯学習・青少年係長 菊地 栄一 図書館長 柴崎 悦子 文化・スポーツ課 課長補佐 浅見 智彦(※今回から説明無し)
○傍聴人	なし

### 会 議 概 要

1 開 会 進行：佐藤課長補佐

2 あいさつ

#### 瀧澤教育長

本日は悪天候の中、委員の皆様にご出席いただき感謝する。また、日頃から名取市の社会教育振興推進へのご支援に感謝申し上げます。今週月曜日、県教育委員会生涯学習課から協働教育推進功績者表彰、相互台地区のコラボ活動推進本部が表彰された。相互台地区は、平成19年と20年に県からコラボスクールのモデル実践校の指定をされ、取り組んできたが、モデル校実践が終わってからも地域の方々が、自主的に地域・学校・公民館・PTAなどが協力し合って活動を続けてきた。その功績が認められての受賞である。昨年度は那智が丘公民館が最優秀公民館に選ばれ、表彰も受けている。名取市は相互台、那智が丘に限らず、どの地区においても地域活動が活発に行われている。地域の方々が熱心に活動に関わっていただいているお陰である。昨年度、市内の15の学校区に地域学校協働活動の本部がすべて設置された。地域の皆さんの力も借りながら、より一層各地域での活動を活発にできるよう取り組んでいきたい。各委員の皆様から忌憚のない意見、助言をいただきたい。

#### 高橋議長

新しい委員の方を迎え、任期の後半へ入る。今回送付された会議録を読むと、最初の頃と比べると話合いの中身が濃いものになってきた気がする。読み返すことで改めて、それぞれの分野で活躍している委員の方々の言葉の重みを感じられる。残り1年間、名取市の生涯学習、社会教育、様々な視点で私たちができることを考えていきたい。協力をよろしくお願ひしたい。

## 会議成立の確認

名取市社会教育委員会会議規則第5条第1項により、委員過半数の出席を確認し会議成立を宣言。

## 会議公開の確認

名取市審議会等の公開に関する要綱第2条の規定により、公開の対象となる旨を告げる。

傍聴席を設けていたが、本日の傍聴者はなし。非公開の議事は予定していないが、非開示情報が含まれる内容となった場合、会議に諮り決定していくことを告げた。

## 3 前回会議の報告

前回会議の会議録を予め送付済みであり、一読されているということで報告に代えた。

## 4 議 事

名取市社会教育委員会会議規則第3条第2項により、高橋議長が議事進行

### (1) 諮問事項

令和4年度社会教育関係補助金交付団体について資料1

資料1について説明 (説明員：生涯学習課 菊地係長)

### 高橋議長

ただいまの説明についてご意見ご質問等いかがか。

### 阿部委員

5番目の各地区青少年健全育成会の方で市民会議には11地区あるが、それまで閑上地区青少年健全育成会は、震災後10年近く申請をしていない。今年度閑上地区の体制が整ったので、今年度震災以降初めて申請したいと思う。皆さんも閑上地区育成会の方も見守っていただければと思う。

### 高橋議長

他にいかがか。

### 本郷議員

6番目の岩沼地区少年補導員協会5万7千円という金額だが、他に団体があって助成するような形なのか、この金額だけ見るとこれでどんなことができるのか。

### 菊地係長

団体名にあるとおり岩沼地区となっているので、岩沼市にも補導員協会があり、名取市と岩沼市とで人口割合に応じて案分した形で補助金額を定めており、この金額を補助しているものである。

### 須永委員

同じような形で、あにまるずの活動の3万6千円はどういった使途で使われているのか。

### 菊地係長

メンバー入れ替えの際の法被やTシャツの購入など、会の中での運営に充てられている。

### 高橋議長

他にいかがか。諮問事項につきましては原案の通り承認してよろしいか。異議がないようなので、原案の通り承認することに決定する。

**高橋議長**

次に(2)報告事項に入る。令和3年度社会教育関係事業報告について事務局より説明をお願いしたい。

**(2) 報告事項**

**ア.令和3年度社会教育関係事業報告について**

**資料2**について説明 (説明員：生涯学習課 菊地係長、佐藤補佐兼公民館係長、柴崎 図書館長)

**高橋議長**

ご意見、ご質問等いかがか。

**本郷委員**

5ページに高度の学習機会を得るということで市民大学講座ということになっているが、短い期間に4回で大学講座と言えるのか。公民館は公民館でそれぞれが色々な講座を持っているのはいいが、それだけでは足りない人もいるので、それで市民大学講座があるかもしれないが、この中に自治や政治経済とか、そういうものも加えて、市民大学講座というのだから4回で終わるといのは果たして名称も適当であるかどうか、この辺を充実させることも必要ではないか。令和4年度の計画事業があるが、充実させるべきなのでは。

**菊地係長**

ご指摘の通りである。義務教育学校、高校、大学を経て社会に出た後は生涯学習を学ぶ機会が少なくなる、または無くなってしまふことからして現代においてはリカレント教育ということで、働きながら学ぶ場が求められる時代である。そういった中で提供の機会として市民大学講座というものを委託事業として実施している状況であるが、回数が4回で専門的な問題を教えていただく貴重な機会ではあるものの、幅広いジャンルにおいて学ぶべきことは多々ある。そこについては尚絅学院大学とも話し合いをしながら、皆さんの意見を踏まえて協議し実施していきたい。

**阿部委員**

質問だが、9ページの新春祝賀会はどういった位置づけなのか。私の記憶だが、公民館主催で地域の方たちと一緒に進めてきた経緯があると思う。今回、愛島公民館においては、一切やらないということで、地域の人が賛同すればスタッフとして支援しますということであるが、これはどういった位置づけでなされているのか。愛島公民館方式であれば、ここに記載する必要はないのではないか。生涯学習課として各公民館に指示をしているのか確認させていただきたい。

**佐藤補佐**

新春祝賀会については、公民館と地域の方が交流するイベントということで、公民館の四大事業行事の一つとしての位置づけとなっているものと考えている。愛島公民館のそういったお話を今聞きましたので、これらについて公民館長会議の中でも情報共有しながら検討していきたい。

**阿部委員**

コロナの問題もあるが、将来的にお酒が出てくるという問題も出てくるので、そういった場合にお酒抜きでもやれる新春祝賀会というものを考えていくべきではないかと思う。お酒が出るからダメというのではなく、コロナの中で社会教育を含めて地域住民がどのようにして交流していくかを模索していくべきことではないのかなと思う。公民館は一切関わらない、愛島公民館はた

## 令和4年度第1回名取市社会教育委員の会議 令和4年5月27日(金)

だ単に中止という方針で打ち出したが、他にやりようがあるのではないのかと思ったので、お酒の有無は関係なく新春祝賀会として開催されるべきなのではと思う。再度ご検討をお願いしたい。

### 佐藤補佐

検討させていただきたい。

### 瀧澤教育長

今、阿部委員が発言した愛島公民館の新春祝賀会の経緯について詳細については私も把握していないが、工夫してやれることはやる、そういった考え方で出来るだけ中止にしないという方向性は大事なことである。今後、各公民館と生涯学習課の方で話し合いをしながら、安易に中止にしないところを基本的な考え方として取り組んでいきたい。

### 阿部委員

愛島公民館の運営協力委員会の副委員長になり、会議の席上でも出て、名取市の方に再考を促すよう多くの区長さんから相談を受けた。たまたまこういう場でお話させていただいた。よろしくをお願いしたい。

### 本郷委員

全公民館で、名取市としてそういう風に決まった形になっているのかなと思った。愛島独自の考えだとは知らなかった。

### 高橋議長

今後については、よろしくをお願いしたい。

### 阿部委員

各公民館、学校の方で地域防災、防災学習がだいぶ進められていることは非常に評価できる。愛島公民館で、昨年度3回目のふれあい防災講座で名取一中の生徒さんも含めて講習会を行った。防災安全課の職員からの説明があり、盛り上がった内容となり、これからも小、中学生や大人を含めた形で公民館の中での防災教育、防災体験または避難運営のつくり方を含めてご検討いただきたい。そういった中で山田市長にも苦言を申し上げたが、11地区のうち、地区での自主防災組織が出来上がっている地区が4地区しかなく7地区が未結成なので、各地区で自主防災組織が結成できるように力を注いでほしい。愛島地区の場合は、公民館と愛島自主防災組織、防災安全課を含めて今回講座を開いた。地域の防災を高めるためにはそういう形をお願いしたい。生涯学習課の方で公民館にサポートするという働きかけ、力添え、助言をしていかなければ地区での自主防災組織はできあがらないのかなと感じている。

### 佐藤補佐

強いサポートを担っていきたい。

### 高橋議長

先日16日の地震の後に、増田公民館のホールの傷みが激しくてしばらく公民館活動ができない状況であった。市民の方々から感想、意見が聞かれたのは、3.11のときの震度よりも小さいのに、地震の後に新しく出来た施設だが、これほど大きな被害状況になるのか、地震のたびに補修しているのはなぜなのかということ聞かれた。そのような疑問を持っている方がたくさんおり、それには答えることができなかった。公民館の使用回数とか延べ人数とか多くなってほしいと思いながら、地震のたびにストップしてしまうというのが矛盾をはらんでいる気がする。利用できない理由を市民にお伝えできれば理解もされるのではないと思う。

**佐藤課長**

議長のおっしゃる通り、昨年度と今年度の地震でホールが被害を受け、結果的に同じような被害で同じような期間休まざるを得ないということで、ご迷惑をおかけしている状況である。今回も補正で予算を組み、9月くらいから使える見込みである。原因については、前回は業者と相談しまして補強工事はしたが、揺れが大きいこともあり、同じような状況になってしまった。今回さらに強化したいということで、災害復旧だけでなく補強をしていきたい。絶対に大丈夫だとは言えないが、更なる補強を考えている。周知については、ホームページで図っていききたい。

**和栗委員**

地震時、町内のほとんどは公民館が避難場所になっている。実際、名取が丘公民館は一時耐震不足ということで、避難場所としてできないとあった。現在、名取市内全部の公民館は避難箇所として大丈夫なのか。耐震設備が整い、安全で避難場所として避難できるようになっているのか。

**佐藤補佐**

耐震基準の方は、満たしているところである。ただし、水害時、浸水する恐れのある場所、土砂災害が来るような恐れのある場所、そういったところは公民館の中でも避難所の指定をしていないところがある。

**高橋議長**

立地条件によって違ってくるといふことなのか。

他にいかがか。無いようなので、令和3年度社会教育関係事業について承認としたい。次に令和4年度事業計画についてお願いしたい。

**イ. 令和4年度社会教育関係事業計画について**

資料3により説明(説明員:生涯学習課 菊地係長、佐藤補佐兼公民館係長、柴崎図書館長)

**高橋議長**

意見、質問等いかがか。

**阿部委員**

9ページの研修会、はなもも教室について、具体的にどのような研修会なのか概要を教えてください。

**柴崎館長**

図書館担当職員研修会の1回目、はなもも教室の沼田先生を講師に招いて、はなもも教室についての概要を聞いたり、不登校の子供たちに対して、学校図書館がどのようなことができるかを話していただくことになっている。

**太田委員**

こちらの資料にはないが、先日、館腰のコミュニティの総会があり、その中で下増田公民館が新しくなった次に館腰公民館と聞いている。館腰公民館は先ほどの質問にあったように、水害に弱いということで、公民館が避難所として活用できないということや、今は和室が主体で、高齢化社会の中で会議室が椅子式になっていないなど不便な点が多く、一方で公民館行事をたくさんしようとしていますので、早めに作っていただきたいと思う。現状、わかる範囲で新しく館腰公民館を設置するためのスケジュールを教えてください。

**佐藤補佐**

館腰公民館であるが、令和8年度のオープンを予定している。今年度は地域の方に集まっていただけ、皆さんと話し合いを行う。概要については3月までにある程度まとめたい。令和5年度から6年度の前半にかけて設計を行い、6年度の後半から7年度にかけて実際に工事をやる形で考えている。最近の公民館は、和室は減る傾向があり、下増田公民館も和室が少なくなった。皆さんの意見の中で纏まっていくものだと思う。

**須永委員**

公民館事業には地区を超えて参加することは可能なのか。

**佐藤補佐**

参加することは可能である。

**須永委員**

市民がすぐにウェブ上でみられる公民館情報源はどのくらいあるのか。

**佐藤補佐**

基本は公民館のホームページになるが、ためまっぷにも情報を載せている。5館の公民館ではFacebookもやっている。公民館だよりが一番情報が多いと思う。

**本郷委員**

今日の課題は行事予定の説明であるが、小さな地域でイベントをすると集まってくるのは高齢者で男性の参加は少なく、ましてや若い人たちは集まらない。全世帯を網羅して何かをやろうとしてもできない。どうしたら全世帯が集まれるのかが地域の悩みである。

**高橋議長**

本郷委員の意見はその他の分野に入るので、まずは前年度の報告と4年度の事業計画について確認したいと思う。その他特に意見がないようなので、承認とする。

**(3) その他**

**高橋議長**

その他はいかがか。

**和栗委員**

企画するのが年配の方なので、子供目線ではない。子供が興味を持つようなものを考えていかないと参加は難しいと思う。小学生は、昭和の遊びを教えながらやると、結構集まってくる。中学生以上は難しい。

**瀧澤教育長**

公民館活動をひとつ取ってみても、高齢の利用者が多い。若い世代をどのように公民館活動の中に参加させていくかが大きな課題だと思う。地域の方々と子供、若い世代がふれあう機会が少ないことを考えると、コロナの影響もあるが、地区民体育大会は、一堂に会する機会になる。実際に交流や触れ合ったりというのが少ないかもしれないが、一定の時間と空間を共有する経験が意義のあるものだと思う。あとは人数など限定的かもしれないが、各地区に地域力向上講座から生まれた団体が、子供を対象としたイベントを開催して子供が参加していると聞いている。先ほど事務局からお話させていただいた地域学校協働活動だが、地域の方が学校に行って学校のサポートをするということがメインではなく、相互台のコラボ活動や、地域と学校と親が一緒になっ

## 令和4年度第1回名取市社会教育委員の会議 令和4年5月27日(金)

て子供を育てる活動をするということである。いくつかの取り組みはあるが、全体としてみると、教育委員会の方でも若い方々にどのように参加していただくか、平日は仕事もあるし難しいとは思いますが、意識的にやっついていかないと世代間の交流ができないと思う。社会教育委員の皆様からの意見などいただきながら、やれることがないか一緒に模索していきたい。

### 阿部委員

昨日、市民会議の常任運営委員会を開き、閑上地区育成会の方から良い話があり、閑上地区育成会と高館育成会が合同で閑上地区のごみ拾いを行った。その中で閑上地区の場合は、子供中心で行った。高館の場合は、子供が少ないので大人が多く参加したとのことである。高館地区の吉田会長の方で、子供が参加できるような宣伝の仕方を考えようと、次回合同である場合は、高館地区の子供も多く連れていき、閑上地区の子供に負けないように頑張りたいという話があった。ぜひ参考にさせていただきたいと思う。

### 本郷委員

先ほど地区民体育大会の話があったが、私の地区では選手の成り手がいない。区長が人を探すのに苦労している。なかなか難しい問題である。

### 太田委員

教育長が述べた相互台の事例や那智が丘の全国表彰についての情報はどこでみられるのか。一か所で事例が見れるというのはないのか。まとまっている情報ツールがあれば、参考にしやすい。

### 瀧澤教育長

公民館のホームページに載っていると思うが、今回の相互台の件は直接公民館が関わっていることではない。地域の情報を一つにまとめたものは発信していない。

### 菊池部長

名取市のホームページにイベントカレンダーとためまっぷがあり、各課の毎日の色々な事業が日にち毎にみられる。ためまっぷでは各公民館だよりも見られるようになっている。そういったPRも必要かもしれない。

### 瀧澤教育長

相互台のコラボに関してはコラボをやっている方々の意見も聞かなければならないが、何等かの形で紹介できるように考えたい。

### 和栗委員

グランドゴルフは集まっているみたいである。名取が丘公民館で親子グランドゴルフ大会をやるが満杯になる。ペタンクやボッチャという年齢を問わずできる競技を取り入れれば楽しめると思う。用具がないので用意できれば参加する人も増えると思う。

### 玉野井委員

感想になるが、私は岩沼在住で名取市に勤務するのが初めてで広報を見る機会もなかったが、公民館の講座がたくさんあり、図書館の活動に関しても充実していると思った。本校の職員は名取市在住が多いが、職員の様子を見ると、このように沢山ある講座を知っているのか、校長としては仕事を精選してお子さんを連れて公民館の活動に参加した方がいいのではないかと思った。

### 須永委員

高館公民館の予定表には書いてないが、公民館まつりの1週間くらい前に高館公民館でプレイパークを今回試しにやってみることにになった。高館小学校の子供たちが中心になっていくと思う

## 令和4年度第1回名取市社会教育委員の会議 令和4年5月27日(金)

が、その子供たちが中学生になったときにどうやって巻き込むか、こちらがやらせたいことをやるのではなく、中学生がやりたいことを引っ張り上げていくことで中学生も興味を持つ。公民館が世代間で交流が持てる場所になったらいいなと思う。

### 高橋議長

生涯学習というのは孤立を避ける、生きている実感をどこの団体に所属していなくても実感できることが大事だと思う。基本的な繋がりがあるところを確保して、そのうえで地域に貢献する余力があること、そこで一番活躍できるのがリタイヤされた方などが柱になると思う。居場所のない方たちに居場所を提供していくというのも地域活動の有効な一つのメリットになるのではないかなと思う。

### 瀧澤教育長

先ほど、玉野井委員から学校の先生方は忙しすぎると話をいただき、責任を感じている。先生ではないが、中学生の参加がないということであるが、議会でも中高生の活動について質問をいただいたことがあるが、中学生の日常生活をみるとそういったものに参加する余裕がないのではないかなと思う。平日は部活をしていると遅くなるし、土日どちらかは部活をしている。中学3年生となると受験勉強があり、生活を考えると中高生が休みであっても地域活動に参加する余裕がない子が多いのではないかな。そういった中、ジュニアリーダーあにまるずの子供たちは非常によくやってくれている。中学校の大きなウエイトを占めている部活動だが、将来的に国の方では地域に移行していくというところを模索している。現実的にすぐはできないが、考えていかなければならない大事な課題だと思う。貴重な意見を聞いてよかった。

### 高橋議長

広報を拝見している中で、市制60周年というのが所々に見えている。市民で60歳の誕生日を祝うという気風になれば少しずつ高まっていくと思う。一つの案として、文化会館のこけら落としで名取市民歌ができた。市民歌の歌詞は名取の歴史がずっと辿られている。歌詞の意味を1年かけて小中学生に浸透させていきたいということや、文化会館をえずこホール、まほろばホールといった愛称を募集して名前を付けてあげるのもいいのかなと思う。個人的な感想であるが、郷土愛を育てるためにも大事な1年じゃないかなと思う。

### 菊地係長

名取市民歌であるが、3月19日に予定していたまなびフェスティバルの開場から開会式が始まるまで市民歌を流し、市民歌を手話で表現してみんなで市民歌を味わおうという計画をしていた。中止になってしまいお披露目できなかったが、振替開催で9月3日に同じ内容で披露する予定になっている。ぜひご来場いただき市民歌を見直すきっかけになればいいと思う。

### 太田委員

婦人会の方で手話をしているが、手話をするためには歌詞を理解しないとイケなく、意味がそれぞれ歌詞によって振り付けができています。簡単な童謡とかができる人でも市民歌の3番までは難しくやる人がいないが、市民歌を広げようということで婦人会でも頑張っている。名取音頭も機会があったら広げていければと思っている。

### 高橋議長

その他よろしいか。なければその他については以上としたい。

佐藤補佐

事務局からお知らせがある。今回は、生涯学習推進協議会と社会教育委員の会議を合わせて、7月に開催したい。後ほどご案内する。

(議事一切を終了。高橋議長、降壇。)

5 閉 会

15:15 終了

以上